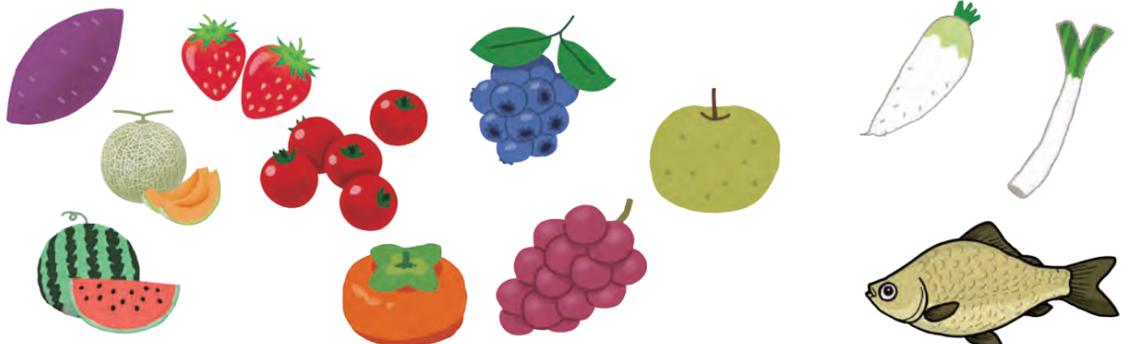


1 全ての観光資源に向けた「三方テラス」
 三方にテラスを設けることで、国道、蓮如館、公園、駐車場、吉崎別院など、すべての方向の賑わいを感じられます。
 テラスでは、湖を眺めながらカフェ、飲食、休憩、パンフレットを眺めたりと、利用者が目的に応じて多様に利用できます。



2 動線と分離した、落ち着いた飲食施設
 飲食施設は他施設を経由することなく、販売施設などから直接入れます。
 販売施設との隣接は、販売施設に訪れた利用者が飲食、休憩、観光案内に気づき、各施設への利用が促進されます。

～目的となる道の駅へ～
結ぶ、集う、育む、つなぐ、学ぶ、安らぎ

3 目立つ観光案内施設
 観光案内施設を建物の南側に張り出すことで、駐車場からも国道からも、どの方向からでも容易に認識でき、利用者の増加につながります。また『観光スクリーン』を設け、ポスターなどの情報をより分かりやすく発信します。

4 発見や出会いをもたらす「縁側ストリート」
 国道側に階段を設け、蓮如館や公園から道の駅へまっすぐに迎え入れる動線『縁側ストリート』を整備します。『縁側ストリート』を歩くだけで、休憩、観光案内、物販、情報コーナーの全てが分かり、購入に繋がります。

5 利用者や職員ともに使いやすい事務室
 事務室から観光案内・飲食・休憩・販売・発信コーナーの全てを視認できる構成とします。移動することなく状況が把握でき、職員の動線短縮につながります。また、事務室やシャワー室は主玄関正面の分かりやすい位置に配置します。

